

# 株 藤里開発公社の経営状況について

第20期（H22.4.1～H23.3.31）の経営状況について、6月の定例議会で報告されましたので公表いたします。

当期における経営環境は景気の低迷、少子高齢化の進行、燃料費の高騰、異常気象による食材の値上がりなど依然厳しい状況が続いており、特に燃料費の高騰はコストアップの大きな要因となって経営を圧迫しています。好条件の乏しい観光産業にとって3月の東日本大震災は大きな痛手でありましたが、水事業は大口の取引が本格化したことや、震災や原発事故の影響でライフラインが断たれたことなどから、水需要が大幅に増え、公社全体の業績を押し上げる結果となりました。

## 貸借対照表（H22.4～H23.3）

（単位：千円）

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	22年度	21年度	増 減	科 目	22年度	21年度	増 減
流動資産	64,580	49,089	15,491	流動資産	173,790	170,876	2,914
固定資産	793,001	792,345	656	固定資産	478,530	539,291	-60,761
有形固定資産	792,243	791,523	720	資産合計	652,320	710,167	-57,847
無形固定資産	406	470	-64	純 資 産 の 部			
投資その他資産	352	352	0	純資産合計	205,261	131,267	73,994
資産合計	857,581	841,434	16,147	負債及び純資産合計	587,581	841,434	16,147

## 損益計算書（H22.4～H23.3）

（単位：千円）

科 目	22年度	21年度	増 減	伸 率
売 上 高	286,342	263,349	22,993	108.73%
売 上 原 価	91,508	84,420	7,088	
粗 利 益 高	194,834	178,929	15,905	108.89%
収 入	116,796	130,355	-13,559	89.60%
売 上 総 利 益	311,630	309,285	2,345	
率	68.04%	67.94%	0.10%	100.15%
一般管理販売費	226,453	215,952	10,501	104.86%
営 業 利 益	85,657	93,333	-7,676	91.78%
営 業 外 収 支	-9,883	-10,984	-1,101	
経 常 利 益	75,774	82,348	-6,574	92.02%
特 別 収 支	-1,000	-103,965	102,965	
税 前 当 期 純 利 益	74,774	-21,617	96,391	
法 人 税 等	300	300	0	
当 期 純 利 益	74,474	-21,917	96,391	

主な事業、実績概要につきましては、以下のとおりとなっております。

### ●ホテル部門

宿泊客が減少傾向にある中で、アルビオン白神研究所員の宿泊等により、4月から12月の期間は98.5%と善戦しましたが、男子浴場の改修による20日間の休業（2/14～3/4）、燃料の高騰、加えて東日本大震災による自粛ムードが高まった事から、ホテル宿泊客数は前年比570名減、3,662名の86.5%となりました。婚礼は前年比1組増の3組、法要も2件増の20件が行われましたが、宴会部門も自粛ムードに配慮して中止または延期となった企画・宴会があり、22件と昨年を1件下回る結果となりました。

### ●保養館部門

入館客は、2月の男子浴場改修工事による休業や、震災の影響による灯油確保難で5日間の休業を強いられたことなどが利用客減少の要因となり、前年度比91.5%となりました。

### ●水生産販売部門

大口との取引が本格的になった事、震災後の水の特需があつて大きく業績を伸ばすことができましたが、震災後の受注は特需的なものが多いため、今後も会員増強や販路拡大が重要となります。

### ●加工部門

粗利益率の改善や経費節減で業績は改善されたものの、攻めの販売ができず売上高減となりました。